

## 令和2年度 福岡市史編さん委員会議事録

1 実施日時 令和3年2月4日（木）13時28分～14時12分

2 実施会場 福岡市議会棟7階 第1・2議員応接室

3 出席者

(1) 出席委員10名

中村	英一	委員長	(福岡市副市長)
有馬	学	副委員長	(九州大学名誉教授、福岡市博物館総館長)
柴多	一雄	委員	(長崎大学名誉教授)
川原	正孝	委員	(福岡商工会議所副会頭)
川崎	隆生	委員	(西日本新聞社相談役)
山本	美和子	委員	(福岡市七区男女共同参画協議会代表)
堤田	寛	委員	(福岡市議会経済振興委員会委員長)
宇田川	宣人	委員	(福岡文化連盟理事)
星子	明夫	委員	(福岡市教育委員会教育長)
吉田	宏幸	委員	(福岡市経済観光文化局理事)

欠席委員2名

笹山	守人	委員	(福岡市自治協議会等7区会長会代表)
龍	靖則	委員	(福岡市総務企画局長)

(2) 事務局 5名

博物館事業管理部長、市史編さん室長、学芸課長 外

4 議事

(1) 令和2年度 福岡市史編さん事業実施状況報告について

(2) 令和3年度 福岡市史編さん事業実施計画（案）について

5 議事録

(1) 開会

- ・ 事業管理部長の司会により開会
- ・ 委員長の開会あいさつ
- ・ 委員長を議長として議事進行

- (2) 議事 1 「令和 2 年度 福岡市史編さん事業実施状況報告について」  
議事 2 「令和 3 年度 福岡市史編さん事業実施計画（案）について」

(委員長)

議事 1 及び議事 2 について事務局より説明を。

(事務局)

- ・資料及び参考資料に基づき説明

(事務局)

- ・資料に基づき通史編（ブックレット・シリーズ）について説明

(委員長)

ただいまの事務局の説明について、ご質問ご意見があればお願いします。とりわけ、市史編さん事業の新しい局面であるブックレットシリーズの編集・刊行や、市民への広報・周知活動について、忌憚のないご意見を賜りたい。

(委員)

広報誌を読ませてもらった。野間・若久地域の特集は大変面白く拝見した。地域住民も地元の歴史は知っているようで知らないものも多く、興味を持たれると思う。広報誌はどの様なところに配架されているのか。学校や公民館などにも置いてあるのか。また、特集の地域はどのような観点で選定されているのか。

(事務局)

博物館内、市役所 1 階の情報プラザ、公民館などに配架している。特集の地域の選定は、市内で行われる事業の情報を収集しながら、様々な要素を考慮し選定している。

(委員)

各公民館への配布は同じ数か。

(事務局)

特集した地域には多めに配布している。

(委員長)

WEBでの公開は行っていないのか。

(事務局)

市史のHPでも公開しているが、WEB上に地域本棚という全国の広報誌を掲載してあるサイトがあり、そこにも掲示していただくなど、全国に知っていただくよう取り組んでいる。

(委員長)

ブックレットについては何かご質問などないか。

(副委員長)

ブックレットについては、今までの自治体誌のような分厚く重く固い内容のもの、これはこれで出す意味はあるのだが、このままでは、やはり市民の皆さんになかなか手に取っていただけない。やるからには市民に届くものを、という観点から様々な検討を行い今回のブックレットの形態となった。

今回の特徴は学校の先生の意見もうかがいながら取り組んだことであり、間もなく出来上がる。当初はジュニア版を構想していたが、現場の先生方の意見は違った。まずは教える側から知っておかなければということであった。

また、一般の人についても、福岡は活発な都市であり、皆何十年も住んでいる人ばかりではなく、最近引っ越してきた人が手に取ってもらい、今回住むことになった福岡とはどういう所なのかと知ってもらうのに有効なのではと思う。昔ならば居酒屋などで得られた人脈から、地域の歴史などの情報を収集したものだが、コロナの時代なかなかそうもできないだろうから、その代わりにお手に取っていただける特色のある本になっていると思う。個人的には営業マンのアンチョコとして使えるのではないかと思う。

次回は広報誌の地域特集を充実させた形のものということで、最初の地域として百道地区で企画しており、鋭意作成中である。アンケートで市民の皆様の意見を取り入れながら更に進んだ企画に発展させていければと編集サイドでは考えている。

(委員長)

ブックレット地域編と市史だよりの地域特集の性格の違い、どのように差別化を図っているのか。

(副委員長)

市史だよりは十数ページの薄さで、これだけ身軽なのでできるということもある。配架しやすく、どなたにでも気軽にお手に取っていただけるというメリットがある。ただ、もっと充実した地域の内容を、歴史に興味のある層に届けようとなると、一定のボリュームが必要となってくるので、ブックレットということになる。

広報誌の地域特集は、取り上げる区域の切り方が重要と考えている。行政区よりもっと小さく、小学校区とも少し違う、歴史を追っていく過程でまとまりのできる独特の地域で取り上げている。ブックレットにするときは、また少し異なった切り方になるかと思う。現在、文化財活用部の方で議論されている歴史文化基本構想に基づく地域計画、文化施策と対応、連動していくような形になっていくのではないかと考えている。

(委員)

今回のブックレットには、市の移り変わりが入っているようだが、例えば、筑前琵琶の流行ったころの町の様子や町並みなど、文化の移り変わりは入っているのか。

(副委員長)

学習指導要領に沿った内容としているので、そこまで踏み込めていないのではないか。

(委員)

資料に三つ写真があるが、産業とか、主要施策とか、人々の雰囲気はこうでしたとか。そこに文化の移り変わりについては反映しているのか。

(事務局)

学習指導要領では、4年生で県の伝統や文化、先人の働きという項目があり、地域の祭りや芸能を学習するが、それに対応し、市内の文化的な部分を紹介する準備をしている。

(委員)

まだできていないのならば、是非入れていただきたい。

(事務局)

学習指導要領とあわせながら検討していきたい。

(委員長)

他に、ご質問はないか。

- ・ 質問、意見なし
- ・ 議事 1、2 は委員の承認を得たものとする。

(3) その他

(委員長)

事務局から他にないか。

(事務局)

福岡市編さん委員会は、『新修 福岡市史』の刊行に先立つ平成16年に発足し、委員の皆様から、基本方針、推進体制、全体の編集方針、刊行計画、各年度の事業計画に至るまで、大局的な観点に立ったご意見を頂きながら進めてきた。委員の皆様には、長年、大変なお力添えを賜り、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

現在、市史編さん事業は、全体計画の6～7合目あたりに差し掛かった。事業の進捗状況にかんがみ、皆様ご一同にお集まりいただく編さん委員会については、今回を一つの区切りとさせていただきたいと考えている。

今後、委員の皆様には個別にご説明、ご報告をしつつ、本年6月委員改選以降は、市史編さんの残りの事業計画にかかる実務的な内容について意見を交わす場を設けていきたいと考えている。

(委員長)

ただいま事務局の説明にあったように、市史編さん事業は委員の皆様のお力添えにより、着実に進んでおり、これから残りの事業については、より実務的に編さんを進めていくとのこと。これまで、大所高所に立った様々なご意見をいただいてきた当委員会も一定の役割を終えたのではないかと。今後は、より実務に沿った意見を対象の方に聞き、個別に生かしていくということであるが、これについて、何かご質問があればお願いします。

- ・質問、意見なし

他になければ、本日の市史編さん委員会の議事を終了する。

#### (4) 閉 会

- ・事業管理部長の司会により閉会